



“WINGS OF LIGHT” 2020 ハイジュエリー コレクション

神秘的で希少性に満ちたピアジェのクリエイションが集まるファンタジーランドへ、あなたをいざないます。さあ、光の翼（Wings of Light）に乗って、一緒に旅をしましょう。

ピアジェと共にイマジネーションあふれるハイジュエリーの世界の扉を開け、奇跡と調和に満ちた静かなオアシスにたどり着けば、沈みゆく太陽が残り火のように輝きやがて夕闇が訪れるでしょう。エキゾチックな輝きに包まれて、私たちは美しいクリエイションの数々を堪能します。

第1章-魅惑の空の旅

マジスティック プルマージュ（華麗なる羽） セット

鳥の翼は、古くからジュエリーのデザインモチーフとして愛されてきました。ピアジェはそれらの羽を職人技とイマジネーション溢れる色彩感覚を駆使しハイジュエリーに昇華させました。豊潤なトロピカルカラーを再現した、メティエ・ダール（フランスの人間国宝に授与される称号）のネリー・ソニエによるフェザーマルケトリ（羽細工）のネックレスです。ジェムセッティングにはエキゾチックな鳥の羽をイメージした、異なる色目のサファイアとスピネルを使用しています。このネックレスの中心には、希少で美しい7.49カラットのパライバ（Paraiba）と呼ばれるトルマリンが使用されています。パライバと言う名は、1980年代に初めてこの美しいトルマリンが発見されたブラジルのあるパライバ州にちなんで付けられました。その色彩は、はっとするようなターコイズから壮麗なブルーグリーンまで様々ですが、この宝石を比類なき存在にしているのは、内側から発せられるまばゆい輝きです。パライバトルマリンは、まさに世界中で最も入



PIAGET

手が困難な宝石であり、モザンビーク産のものは、特に希少とされています。この石自体が発する輝きが、クリエーション全体を美しく照らします。



このジュエリーには、ピアジェが開発した斬新な仕掛けが用いられています。このネックレスはフェザーマーケットリのパーツを取り外してイヤカフとして着用することができ、さらに2つのパーツに分けて左右の耳に装うこともできます。

同コレクションのイヤリングは色彩豊かでレッドスピネルの美しさが際立つデザインに仕上がっています。レッドスピネルはルビーとよく似ているため、宝石学が発達し両者の違いが鑑別されるまで「バラスルビー」と呼ばれていました。このイヤリングに使われている2.7カラットのタンザニア産のスピネルの輝きが注目の的になる事は間違いないでしょう。ペアシェイプである事に加え、ピンクがかった色味がその希少性と価値を高めています。また、マルチカラーのサファイアはこのイヤリングを一層魅惑的に引き立てます。このイヤリングは、完璧な動きと着け心地を実現するために、ピアジェのアトリエで140時間掛けて作られました。



カクテルリングにおいても、最高のストーンとクラフツマンシップの組み合わせが実現しました。石の調達から組み合わせまでに8カ月を要した個性的で美しいこのリングのストーンには、一般的な暗めのブルーグリーンとはまったく異なる、鮮やかなインディゴブルーのトルマリンと、完璧な「ホットピンク」の色味をしたペアシェイプのスピネルが採用されています。

第2章 – 壮麗な安息の地

シークレット セノーテ（秘密の聖なる泉）セット

PIAGET

きらめく大地を渡って旅を続けると、素晴らしいオアシスに到着します。まずは魅惑的な広場でほっと一息つきましょ。青い水が滝のように流れ落ちた先には、静かな泉があります。このジャングルの中心はまさに安息地で、すっきりとしたラインと滑らかなシェイプが自然界のバランスを保っています。大地、石、そして水が完璧な調和の元に一体となった、この天然のプールは「セノーテ」（「聖なる泉」を意味するスペイン語）と呼ばれ、水の色が私たちを映し出し、心を穏やかに静めてくれます。このネックレスの中心部にあるのは、セノーテの澄みきった水を映す「セイロン」サファイアです。この宝石は驚くほど美しい 22.68 カラットの至福のブルーで、特別な魂を持ち、私たちをはるか遠い夢の世界へと導きます。世界最大かつ最高の色彩を備えるサファイアの産地として最も良く知られるスリランカのラトゥナプラからやってきたサファイア。スリランカはシンハラ語で“光り輝く島”を意味しますが、そのいわれが理解できます。この国には、世界中を一見しても比類のない宝石が揃っているのです。コーンフラワー・ブルーをまとこのストーンは、ベルベットのような柔らかい質感も合わせ持っています。穏やかさや滑らかさはそのままに、流れる水や吸い込まれそうな水の深みなども完璧に表現したこのネックレスは、熟練した職人によって 230 時間を掛けて制作されました。



シークレット セノーテの夢のような美しさはリングにも反映されています。その中心には、完璧にデザインされた美の泉があります。この強いブルーの色相と鮮烈な彩度を持つ 11.34 カラットの宝石は、極めて純度が高い結晶であり、このリングに相応しいトーンとカラーを持つサファイアを見つけ出すために 1 年を必要としました。このサファイアはマダガスカル産ですが、マダガスカルはかつて地質学的にスリランカと同じ陸塊であったと考えられており、スリランカ産の石に調和する色となっています。この宝石の周りに配されたマーキスシェイプのダイヤモンドは、秘密の泉を守るツル草の葉の茂みを表しています。

サファイアとダイヤモンド、2つの色を愛でる穏やかな喜びを仕上げるのは、おそろいのストーンを配した一組のイヤリングです。あまりに完璧な組み合わせに、かつてそれらは同じストーンだったのではないかと思うほどです。それほどにこれらのストーンの色相、色調、彩度は似ており、混じり気がなく、その起源や原産地を証明するようなインクルージョンさえ含まれていないのです。インクルージョン



PIAGET

はストーンの素性を見極める ID カードのような役割を果たしますが、これらの宝石は、混じり気のない事が魅惑的な物語を私たちに語りかけているのです。

「セイロン」サファイアのセットを締めくくるのは、ブルーやグリーン
の熱帯の植物からインスパイアされたウォッチです。みずみずしく豊かな自然の色彩をイメージした文字盤とその周りのディテールには、オーストラリア産の世界最高峰の威厳に満ちたブラックオパールが配されています。ピアジェはこのような天然石を1960年代にはじめてウォッチのデザインに取り入れ、半世紀を超えてメゾンのシグネチャー的デザインとして大切にしてきました。1960年代当時、美しいデザインの代表的要素と考えられていたアシンメトリーですが、今回のクリエイションのデザインは均等性を高めたものになっています。自然界のランダムさを表しつつも、その自然らしさは熟練したジェモロジストの手によって作り出されています。バゲットカットのサファイアと、バゲットカットとブリリアントカットのダイヤモンドを交互にウォッチのフェイス周りにセッティングし、優雅なピアジェスタイルを表現しています。



第3章-恍惚のダンス

レインボー ライト（虹の光） セット

休息の後、この世界にある美しい奇跡を称えましょう。ゴールドと深いバラ色の色彩は、まるで太陽がゴールドの輝きの中に沈み暮れなずむ様を表現しています。鮮やかに色づいた風景は、触れるものすべてを浄化し魅惑的な深みを与えます。



最も壮大な自然の物語が始まります。優美な夕陽の輝きを再現するために、ルベライトとピンクトルマリンといったユニークなストーンが選ばれました。温かみのある夕日を表すピンクゴールドの素材には、繊細なパレス装飾が施され、その中でルベライトとピンクトルマリンがまるで燃える炭のように輝いています。手作業で行われるゴールドのエンレービングの仕上げには、昔ながらの技巧と特別な道具が用いられ、輝くメタルの表面にエッチングを施して柔らかい雰囲気をつくり出しています。た

PIAGET

だし、このピースをより特別な物に仕上げているのはレザー、ウッド、マザーオブパールのマルケトリという画期的な組み合わせです。この小世界には、ホーンビーム（シデ）、メイプル、ユリノキ、シカモア、そしてレザー、パーチメント、ライムギのストローまでもが存在しているのです。メティエ・ダールのローズ・サヌイユが編み出したユニークなプロセスでは、ウッドまたはカーフスキンの小片をアウトラインとシェイプに完璧にフィットするよう慎重に切り出し、細心の注意を払って全体の位置を決めています。そして光の筋の効果を生み出すために、それらがあるべき場所に配されます。息を飲むような画期的なマルケトリ技法はメゾンの新たなシグネチャーです。そして、マザーオブパールにもユニークな技巧が施されています。着け心地の良さを保証するために、マザーオブパールはいくつもの異なる長さにカットされ、カーブしたものを配しています。さらに、熱帯性の気候に合わせて開発された薄いニスの層で覆われているため、耐水性、耐紫外線性があるのも特徴です。

3つのジュエリーで構成されているレインボーライトセットの2つ目は、新しい技巧を用いたマンシェット（カフブレスレット）です。このマンシェットは完成までに250時間を要しました。中心に据えられた22.68カラットのルベライトは沈みゆく太陽を表現し、マルケトリの部分は太陽の光線を表します。これらのジュエリーはまさにクリエイティビティの限界を超えて、さらに完璧さを追求した賜物です。ベゼルにもマルケトリが施され、一つ一つのディテールは完璧に計画され作り上げられています。



レインボーライトセットのウォッチもまた美しさを極めたクリエイションであり、時計製造の長い歴史とジュエリーへの審美眼を追求したピアジェの高い専門技術の結晶と言えます。ウッド、ストーン、ストロー、レザー、パーチメントを使った美しいマルケトリの技法はここでも採用され、ピアジェのシグネチャーの1つであるオフセンターの時・分カウンターとトゥールビヨンキャリッジを組み合わせています。これらのハイジュエリーピースは、私たちが魅惑の旅にいだない、イマジネーション、色彩、奇跡の世界、そして制約や限界の無い、華やかな創意が溢れる場所へと導きます。

私たちと一緒に Wings of Light の翼に乗って空想の旅に出かけましょう。
時代を超えて受け継がれる、卓越性と独創性に満ちたきらめく世界へ。

#ShareYourExtraordinary

©Piaget 2020不許複製・禁無断転載

ピアジェ オフィシャルサイト

www.piaget.jp

www.facebook.com/piagetjapan

www.twitter.com/piaget

www.instagram.com/piaget

ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティブに溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体现されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メゾンの創立者であるジョルジュ＝エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にするピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メゾンを代表する「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メゾンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「ポセション」、「ピアジェ サンライト」、「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。